

想いを形にする青少年育成委員会 年間事業計画書

1. 委員会構成メンバー ◎平井 拓海、○佐瀬 悠真、秦 靖英、石井 寛幸、永島 太地
⊕大黒 辰治

2. 委員長所信（基本方針）

人はコミュニティで生活するうえで相手を思いやり助け合う気持ちを大切にしています。家族と接する時や地域で交流を深める時など、どの場面においても重要なことだといえます。しかし、忙しく自分のことで精一杯になってしまい思いやりを大切にできていないと感じる大人達は少なくありません。親を見て育つ子ども達は大人になった時人に優しくなれているのでしょうか。そこで、だんだんと薄れてしまっている思いやり助け合う気持ちを今一度感じてもらうことが必要だと考えました。

私達大人も共に学びつつ子ども達にも思いやり助け合う気持ちについて改めて考える場を設けます。その場で様々な経験をしてもらうことで、子ども達がこれから関わるたくさんの人とより良い関係を築けるようにするだけではなく、「ありがとう」という声がたくさん聞こえてくる地域になると確信しています。

また、安来をより良くするという意欲を高めてもらうために、安来子ども議会を開催します。子ども達ならではの想いを伝えることで、さらに郷土への関心を深めます。より良くするためにはどうすれば良いのか意見を交わし行政の方へ発言できる場を設け、自主性を高めることにつなげます。

互いに助けあい、思いやる心を持ち地域のために率先して行動し自分の想いを形にできるような大人へと導いていきますので、一年間よろしくお願いいたします。

3. 事業計画

1) 2月例会の開催並びに第174回通常総会の開催(2月)

(目的) 総会を開催し定款第3章第17条「事業計画及び収支予算の決定並びに変更」の事項について決議します。

(方法) 通常総会を厳粛に滞りなく開催します。

2) 5月例会の開催(5月)

(目的) 大人と子どもが共に助け合う心と思いやりの大切さを学んでいただきます。

(方法) 大人と子どもが共に助け合う心と思いやりの大切さを今一度学べる場を作ります。

3) 安来子ども議会の開催(10月)

(目的) 市政及び議会への理解を深めることで、まちづくりに積極的に参画しようとする意欲を高めます。

(方法) 子どもたちに直接市長や市議会議員の方々に想いを伝える体験をしていただきます。

4) 12月創立記念例会の開催(12月)

(目的) 2025年度理事長の方針を先輩方に伝え、2025年度へ向けて士気を高めます。

(方法) 特別会員の皆様をお招きしてお酒を酌み交します。

5) ふれあい年末号の発刊(12月)

(目的) 安来市民の皆様に一年間の運動の成果を周知します。

(方法) 広報紙ふれあい年末号を安来市内（山陰中央新報購読者対象）に発刊します。